

米ホワイトハウス「60 億ドル超の科学イニシアチブ」の検証と 日本の取組との比較

2026 年 10 月 8 日発表「Science: A New Golden Age」パッケージの内容・評価と日米比較

2026 年 10 月 12

Claude Opus 5.5

凡例：本文中の上付き番号は文末の参考文献に対応する。【分析】と記した箇所は確認済みの事実ではなく、筆者の分析・推論である。金額の円換算は 1 ドル=158 円とした。

要旨

- **事実確認**：ホワイトハウスは 2026 年 10 月 8 日、「Science: A New Golden Age」サミットに合わせてファクトシートを公表し、連邦政府・産業界・学术界・慈善団体にまたがる 60 億ドル超（約 9,480 億円）の投資を発表した^[1,2]。日付と金額は報道どおりである。ただし単一の正式名称を持つ施策ではなく、複数の施策を束ねたパッケージである。
- **資金の性格**：60 億ドル超は、新たに歳出された連邦資金の合計ではない^[3,4,5]。最大の項目は AI 企業 11 社による 24 億ドルで、計算資源や AI ツールの提供が中心である^[1,6]。一方、2027 会計年度の大統領予算要求は、連邦研究開発費を 22%、NSF 予算を約 55%削減する内容である^[7,8]。
- **日本との比較**：文部科学省の令和 9 年度 AI for Science 概算要求 3,789 億円（約 24 億ドル）は、米国の企業拠出 24 億ドルとほぼ同じ規模である^[9]。日本は計画と予算の一貫性、米国は意思決定の速さと民間資本の規模が強みである【分析】。日本は Genesis Mission の最初の国際パートナーでもある^[10]。
- **企業への含意**：米国の計算資源へのアクセス条件、データ・知財の契約、米国の継続予算の期限（12 月 11 日）を確認することが実務上の焦点となる【分析】。

1. 前提の事実確認

報道の主要な要素を一次ソースと照合した結果を表 1 に示す。

表 1 報道内容と一次ソースの照合

項目	報道	一次ソースでの確認結果
発表日	2026 年 10 月 8 日（現地時間）	一致。ホワイトハウスのファクトシートは 2026 年 10 月 8 日付 ^[1]
金額	60 億ドル超（約 9,480 億円）	一致。連邦政府・産業界・学術界・慈善団体にまたがる投資の合計として記載 ^[1] 。円換算は 1 ドル＝158 円 ^[2]
名称	科学分野のイニシアチブ	単一の正式名称はない。サミット名は「Science: A New Golden Age」。ファクトシートの題名は「今世紀で最も野心的な科学イニシアチブ群」だが、本文では「数十年で」と表現が異なる ^[1]
発表主体	ホワイトハウス	科学技術政策局（OSTP、クラツィオス局長）が主導し、エネルギー省（DOE）・NSF・NIH・NASA などが同時に発表 ^[11,12,13]

注意点として、ファクトシートは 60 億ドル超の会計上の内訳を示していない。24 億ドルの機関別配分も示されておらず^[6]、項目によっては別の数字と足し合わせると重複計上になるものがある^[3]。

2. 発表の内訳

2.1 主な施策と金額

ファクトシートとクラツィオス局長の演説に記載された主な施策を表 2 に示す^[1,11]。

表 2 パッケージの主な内訳

分野	主な施策	金額	資金の性格
AI の科学利用 （政権は「スーパーインテリジェンス」と表現）	Genesis Mission Consortium への産業界 11 社の拠出：NVIDIA 10 億、AMD 5 億、OpenAI 2 億、Anthropic・Google 各 1.5 億、AMP・Emerald AI 各 1 億、AWS・Armada・Crusoe・Micron 各 0.5 億ドル ^[1,5,6]	24 億ドル	民間による提供（計算クレジット、AI ツール等）
地域の計算基盤・人材	ジョージア州・大学・産業界による科学計算と人材育成。南東部 10 州の 14 超の大学によるコンソーシアム、ノース・サウスカロライナ両州の 5 大学による計算ハブ ^[1,11]	10 億ドル	州・大学・民間

分野	主な施策	金額	資金の性格
自律実験・計測	NSF と DOE によるスーパーインテリジェンス対応の研究機器・自律ラボ ^[1]	1 億ドル超	連邦
人材	DOE の Genesis Mission フェローシップ（4 年制の加速型 PhD）、NSF の 6 年一貫の学士～博士課程、NIH 「Generation Discovery」（若手 100 人）、NSF Young Scholars Program の復活 ^[1,11]	1 億ドル（フェローシップ）	連邦。FY2027～31 に年約 2,000 万ドルで、うち 8,000 万ドルは将来の歳出次第 ^[3]
国家ミッション：量子	DOE 「Quantum Genesis Q Competition」（誤り耐性量子計算機の開発競争）と 8 つの優先応用分野 ^[1,12]	最大 2.15 億ドル	連邦。競争自体は 9 月 17 日に公表済み ^[3,14]
国家ミッション：NSF	NSF Grand Research Challenge（Quantum+X、合成多細胞性） ^[1]	各 3,300 万ドル	連邦
国家ミッション：生物学	NIH・DOE・Biohub の「バーチャル生物学」（仮想細胞）イニシアチブ。DOE の Bio Genesis を支援 ^[1,15]	18 億ドル	官民混合。既存の投資を含む（3.1 参照）
国家ミッション：宇宙原子力	NASA・DOE の宇宙原子力に関する覚書。2028 年打上げ予定の原子力火星探査機「Space Reactor-1」、「Lunar Reactor-1」 ^[1]	記載なし	覚書は 10 月 8 日署名、11 月 1 日発効 ^[5]
新しい研究組織	X-Labs Consortium（NSF の X-Labs に機器・施設スペースを提供） ^[1]	3.1 億ドル超	民間・慈善
メタサイエンス	NSF・DOE・NASA などが研究手法の改善に関する実験を開始。NSF と英国 UKRI が協力 ^[1,11]	—	—

2.2 根拠となる先行政策

- **Genesis Mission**：2025 年 11 月の大統領令で開始された。2026 年 7 月 22 日には、50 億ドル超の連邦コミットメントと、15 超の機関への拡大が発表された^[16]。
- **OSTP 報告書「Science: A New Golden Age」**：2026 年 7 月 21 日に公表された^[16]。
- **関連する大統領令・施策**：NSF の X-Labs（2026 年 5 月、10 年間で 15 億ドル）^[11,17]、量子に関する大統領令（2026 年 6 月）、宇宙優越に関する大統領令（2025 年 12 月）、NSTM-3 がある^[1]。

- **京都ビジョン**：2026 年 10 月 4 日、京都での第 23 回 STS フォーラムで、日本を含む 17 か国が支持した^[18]。
- **サミットでの表彰**：マスク、ブリン、フアン、スーの 4 氏に国家科学賞が、デル、ナデラの両氏に国家技術革新賞が授与された^[19]。

3. 評価・反響

3.1 「新しいお金」かどうか

複数の分析は、60 億ドル超が新たに歳出された連邦資金の合計ではないと指摘している^[3,4,5]。

CDO Magazine は、Nextgov の報道を引きながら、拠出の多くは直接の連邦支出ではなく、計算能力、クラウドや AI モデルへのアクセス、割引、研修の約束だと伝えた^[20]。BGR の資料は、24 億ドルを産業界による AI ツールと計算クレジットと位置づけた^[6]。ビジネス+IT も、大半の拠出について提供期間や条件がほとんど示されていないと報じた^[2]。

18 億ドルのバーチャル生物学イニシアチブは、Biohub の発表によれば次の 4 つで構成される^[15]。

- DOE：Genesis Mission を通じて 5 年間で 5 億ドル超
- NIH：過去の 5 億ドル超の連邦投資で構築した既存のデータセット（新規資金ではない）
- Google DeepMind・Isomorphic Labs・Meta：計 3 億ドル
- Biohub：5 億ドル（内部 4 億ドル、外部 1 億ドル）。以前に表明済みの資金である^[3]

このため H2S Media は、新規の資金は 13 億ドル程度にとどまると分析している^[21]。また、ジョージア州の 10 億ドルについては、ジョージア工科大学とエモリー大学が両校で AI に 10 億ドル超を投資すると発表している（エモリー大学約 6 億ドル、ジョージア工科大学 5.75 億ドル超）^[22]。

3.2 研究予算削減との矛盾

- 2027 会計年度（FY2027）の大統領予算要求は、連邦研究開発費全体を 22%削減する内容である^[7]。
- NSF については、87.5 億ドルから約 39.6 億ドルへ 54.7%の削減が要求された。下院歳出委員会の案は 70 億ドル（20%減）で、削減幅を縮めている^[8]。

- FY2027 は 12 月 11 日までの継続予算 (P.L. 119-103) で始まった。NIH は、非競争的な継続課題の交付額が直近の交付通知を下回る可能性があるとは通知している^[5,23]。
- ワシントン・ポストは、資金削減と研究者流出のなかで政権が「黄金時代」を打ち出すと見出しで報じた (本文は未確認)^[24]。

3.3 科学界・議会の反応

以下の多くは、10 月のサミットではなく、7 月の OSTP 報告書と下院公聴会に対する反応である。

- 下院科学委員会の民主党筆頭のロフグレン議員は、7 月 22 日の公聴会の題名 (「科学の黄金時代を解き放つ」) を「驚くほど皮肉だ」と批判した^[25]。
- 元 NSF 長官のニール・レーン氏は、報告書が研究機関の予算や人員のさらなる削減を正当化するために使われるとの見方を示した^[26]。全機関に一律の規則を課すことや、ピアレビューの軽視も批判している^[7]。
- 共和党のバビン委員長は、黄金時代は支出額ではなく成果で測られると述べ、政権を支持した^[27]。

3.4 企業拠出の条件とベンダー依存

- AWS は、3 年間で最大 5,000 万ドルのクラウドクレジットを提供する。対象は適格な参加者で、プロジェクトが採択された場合に限られる^[28]。
- Anthropic は、3 年間で 1.5 億ドルを拠出する。15 超の連邦科学機関での Claude 利用、Claude・Claude Code・API のクレジット、提携、研修を含み、数百件規模の研究プロジェクトを支援するとしている^[29]。
- explainx.ai は、3 年間で作ったワークフローは移行コストが高く、クレジットがロックインの役割も果たすと指摘した^[30]。OpenAI のトークン割引は同社のモデルにしか、AWS のクレジットは同社のクラウドにしか使えないとも分析している^[31]。
- Bytes Europe は、クレジットの価値はアクセス条件と期間に左右されるとした^[4]。

4. 日本の対応施策

4.1 計画・戦略

- **第7期科学技術・イノベーション基本計画**：2026年3月27日に閣議決定され、対象は2026～2030年度である^[32]。政府研究開発投資は5年間で60兆円（前期比倍増）、官民で180兆円を目標とする^[33,34]。トップレベル論文数の指標で、世界13位から10年以内に3位を目指す^[33]。AI for Science は柱の一つ「科学の再興」の施策と位置づけられ、17の重要技術領域が示された^[33]。
- **人工知能基本計画**：2025年12月23日に初めて閣議決定された^[35]。2026年7月14日には第II期の計画が閣議決定され（報道では「改定」）^[36,37]、AI for Science を「日本の勝ち筋」と位置づけた^[36]。
- **文科省「AI for Science の推進に向けた基本的な戦略方針」**：2026年3月31日に策定された。対象は2026～2030年度の5年間で、「科学の再興」と国際競争力の強化を目的とする^[38]。

4.2 予算（令和9年度文科省概算要求）

AI for Science 関係の要求額は3,789億円で、令和8年度の563億円の約6.7倍である。うち2,984億円は「強く豊かな日本」投資枠での要求である^[9,39]。主な内訳を表3に示す。いずれも**要求段階**の数字で、年末の政府予算案や国会審議で変わりうる。

表3 令和9年度文科省概算要求の主な項目

項目	要求額	概要
ARiSE	1,420 億円	AI for Science の研究開発・実装。産学コンソーシアムによる研究データの AI-Ready 化を含む ^[9]
SPReAD	233 億円	3,000 件程度の研究課題を支援 ^[9]
科学研究基盤モデル（TRIP-AGIS）	203 億円	科学研究向けの基盤モデルの開発 ^[9]
計算基盤の環境整備	495 億円	AI for Science を支える計算環境 ^[9]
富岳 NEXT（富岳の次世代機）	279 億円	2030 年ごろの稼働を目指す次世代計算基盤 ^[9]
（参考）科研費	4,552 億円	前年度 2,479 億円 ^[9]

4.3 計算基盤

富岳 NEXT は理化学研究所が富士通・NVIDIA と開発し、2030 年ごろの稼働を目指す^[40]。稼働までの総投資は、京や富岳と同様に 1,100 億円程度と見込まれている^[41]。

4.4 日米の Genesis Mission 連携

- 2026 年 6 月 4 日（米東部時間）、DOE と文科省・経済産業省が戦略的パートナーシップの意向表明に署名した^[42,43]。日本は Genesis Mission の最初の国際パートナーとなった^[10]。
- DOE と文科省が 5 年間でそれぞれ 5 億ドル、計 10 億ドルを拠出する（将来の歳出が前提）。11 の共同研究チームが発足する^[10]。
- 意向表明には、相手国の研究者に自国の研究者と同じ許可・承認を与える条項がある。一方、重要データの扱いや共有は協議中である（文科省の柿田恭良氏）^[43]。

4.5 その他の関連施策

- **10 兆円大学ファンド**：2025 年度の運用益は 3,158 億円で、助成額は東北大学 169 億円、東京科学大学 124 億円とされる^[44]。京都大学は 2026 年 7 月 31 日に国際卓越研究大学に認定され^[45]、文科省は 8 月 7 日に計画を認可し、2026 年度に約 198 億円を助成すると報じられた^[46]。
- **経済安全保障重要技術育成プログラム（K Program）**：5,000 億円規模の基金で、43 構想・51 技術の研究開発を支援している。2026 年 8 月の会議で中間評価の結果が報告された^[47]。

5. 日米比較

主要な比較軸ごとに日米を整理する（表 4）。右端の列は筆者の分析である。

表 4 日米の比較

比較軸	米国	日本	評価 [分析]
予算規模	60 億ドル超（約 9,480 億円）は官民の合算。連邦分は Genesis の 50 億ドル超（7 月）が中心。大統領予算は研究開発費 22%減を要求	AI for Science 3,789 億円（要求、約 24 億ドル）、富岳 NEXT の総投資 1,100 億円程度（見込み）、日米 Genesis 5 億ドル。基本計画は政府 5 年 60 兆円	看板額は米国が大きい。公的な新規資金で見ると、日本の AI for Science 要求額と米国の企業拠出 24 億ドルがほぼ同規模

比較軸	米国	日本	評価 [分析]
官民連携	企業が計算資源・AI ツールを提供し、政府が枠組みを用意	国費で基盤（富岳 NEXT、TRIP-AGIS）を整え、ARiSE で産学連携を進める	米国は民間資本で速いが、ベンダー依存の懸念がある。日本は自律性を重視するが、民間の厚みが不足
重点分野	AI、量子、仮想細胞、宇宙原子力、自律ラボ	AI for Science と、第 7 期基本計画の 17 の重要技術領域	AI と量子は双方の重点。宇宙原子力は米国特有
司令塔	OSTP（ホワイトハウス）と DOE。予算の権限は議会	総合科学技術・イノベーション会議（内閣府）、人工知能戦略本部、文科省	日本は計画と予算の整合性が高い。米国は議会予算との乖離がリスク
意思決定の速さ	大統領令（2025 年 11 月）→ 報告書（2026 年 7 月）→ サミット（10 月）と数か月単位	閣議決定→概算要求→予算成立→公募と年単位	米国が速い。ただし継続性は政権と歳出に左右される
人材	加速型 PhD フェローシップ 1 億ドル、NSF の 6 年一貫課程、NIH の若手 100 人	科研費の要求 4,552 億円、SPReAD 3,000 件程度、大学ファンド	日本は裾野型、米国は選抜型の色合いが強い
計算資源	民間クラウド・GPU のクレジットと国立研究所	富岳→富岳 NEXT（2030 年ごろ）、計算基盤の環境整備 495 億円（要求）	日本は富岳 NEXT 稼働までの端境期の手当てが課題
知財・データ	企業クレジットの利用条件は一部のみ公表	日米間の重要データの扱いは協議中	双方とも未確定で、企業が参加する際の最大の論点

6. 日本への示唆 [分析]

6.1 日本の強みと課題

強み：基本計画、AI 基本計画、概算要求が一貫している。AI for Science 予算を前年度の約 6.7 倍に増やし、科研費も前年度を大きく上回る額を要求している。富岳の運用実績があり、米国の旗艦事業に最初の国際パートナーとして参加している。

課題：民間の計算資源と資本の規模で米国に大きく劣る。日本の官民の研究開発投資は 20.4 兆円（2023 年）で、米中の 4 分の 1 以下である^[34]。要求額がそのまま成立するとは限らない。富岳 NEXT の稼働までの計算資源の確保や、日米間のデータ・知財ルールの整備も課題として残る。

6.2 企業（研究開発部門・知財部門）への含意

1. **米国の計算資源への入口を確保する**：日米の意向表明には、相手国の研究者を自国の研究者と同様に扱う条項がある^[43]。共同研究チームへの参加経路や、ARiSE の産学コンソーシアムを確認しておく^[9]。
2. **データと知財の契約を先に設計する**：計算クレジットを使って生まれたモデル・データ・発明の帰属、輸出管理、特定ベンダーへの依存を、契約段階で確認する。米国の企業拠出は条件の多くが公表されておらず、特に注意が必要である。
3. **データ標準化の動きを追う**：バーチャル生物学のように、AIで使える形のデータ基盤づくりが競争力の源になりつつある^[15]。測定データの形式やアクセス条件をめぐる議論を注視する。
4. **米国の歳出の行方を監視する**：12月11日の継続予算の期限と、FY2027の最終的な歳出が、パッケージの実行規模を左右する^[23]。

7. 留意点（未確認・不確実な事項）

- 60 億ドル超の公式な会計内訳は示されていない。既存投資の再計上や、項目間の重複がありうる。18 億ドルのうち新規分を約 13 億ドルとする見方は、非公式の推計である。
- 量子の開発競争（最大 2.15 億ドル）は 9 月 17 日に公表済みで、10 月のパッケージに再掲されたものである^[3,14]。
- 日本の令和 9 年度の数値はすべて概算要求であり、成立額ではない。富岳 NEXT の総投資 1,100 億円程度も報道上の見込みで、政府の確定額ではない。
- ワシントン・ポスト、CNBC、Science の記事本文は取得できず、見出しのみ確認した。10 月 8 日のサミットそのものに対する科学者・議員の反応は確認できていない。
- NSF 予算の削減率は AAAS の集計を取得できず、AGU の集計（54.7%減）を用いた。
- 京都ビジョンの支持について、日本政府（文科省・総合科学技術・イノベーション会議）の公式コメントは、調査時点で見つからなかった。

参考文献

各 URL は 2026 年 10 月 12 日に取得を確認した。取得できなかった資料、または一部のみ確認した資料は〔〕内に注記した。

- [1] The White House. "Fact Sheet: Trump Administration Announces the Most Ambitious Set of Science Initiatives This Century." 2026 年 10 月 8 日. <https://www.whitehouse.gov/fact-sheets/2026/10/fact-sheet-trump-administration-announces-the-most-ambitious-set-of-science-initiatives-this-century/>
- [2] ビジネス+IT「米ホワイトハウス、科学に 60 億ドル超 産業界 11 社が AI ツールと計算資源に 24 億ドル 抛出」2026 年 10 月 11 日. <https://www.sbbbit.jp/article/cont1/187408>〔有料部分は未確認〕
- [3] 4FIRE. "The White House's \$6 Billion Science Investment Announcement: How Much Is New, and Where Will It Go?" Substack, 2026 年 10 月 10 日. <https://netcreat.substack.com/p/the-white-houses-6-billion-science>
- [4] Bytes Europe. "White House Announces \$6 Billion Science Initiative Package." 2026 年 10 月 10 日. <https://www.byteseu.com/2439018/>
- [5] Joel Widder. "Periodic Update on Federal Science & Technology Developments (Week of October 4–10, 2026)." Substack, 2026 年 10 月 10 日. <https://jmwidder.substack.com/p/periodic-update-on-federal-science-6b0>
- [6] BGR Group. "White House Hosts 'Science: A New Golden Age' Summit." 2026 年 10 月 8 日. <https://bgrdc.com/wp-content/uploads/2026/10/2026.10.08-Administrative-Action-Golden-Age-Summit.pdf>〔資料に作成者名の記載なし。掲載ドメインから BGR 作成と推定〕
- [7] Peter Gwynne. "Critics deride US administration's 'golden age of science' report." Physics World, 2026 年 8 月 5 日. <https://physicsworld.com/a/critics-deride-us-administrations-golden-age-of-science-report/>
- [8] Michael Villafranca. "FY2027 Appropriations Update: NASA, NOAA and NSF." AGU The Bridge, 2026 年 5 月 26 日. <https://thebridge.agu.org/2026/05/26/fy2027-appropriations-update-nasa-noaa-and-nsf/>
- [9] 文部科学省「令和 9 年度概算要求資料」2026 年 8 月 25 日. https://www.mext.go.jp/content/20260825-ope_dev02-000051779-8.pdf〔資料に表題の記載なし。冒頭見出しは「科研費による知の基盤強化」〕
- [10] U.S. Department of Energy. "United States and Japan Announce Historic \$1 Billion Partnership Under President Trump's Genesis Mission." 2026 年 6 月 4 日. <https://www.energy.gov/articles/united-states-and-japan-announce-historic-1-billion-partnership-under-president-trumps>
- [11] The White House. "Remarks by Director Michael Kratsios at the Science: A New Golden Age Summit." 2026 年 10 月 8 日（掲載 10 月 9 日）. <https://www.whitehouse.gov/remarks/2026/10/remarks-by-director-michael-kratsios-at-the-science-a-new-golden-age-summit/>
- [12] U.S. Department of Energy. "FACT SHEET: The Energy Department is Ushering in a Golden Age of American Science." 2026 年 10 月 9 日. <https://www.energy.gov/articles/fact-sheet-energy-department-ushering-golden-age-american-science>
- [13] NASA. "NASA Announces Bold Science Initiatives for America's Golden Age Summit." Release 26-085, 2026 年 10 月 8 日. <https://www.nasa.gov/news-release/nasa-announces-bold-science-initiatives-for-americas-golden-age-summit/>

- [14] Olivia Stephanie. "President Trump unveils \$215M quantum computing plan amid crypto fears." crypto.news, 2026 年 10 月 9 日. <https://crypto.news/president-trump-unveils-215m-quantum-computing-plan/>
- [15] Biohub. "International, cross-sector collaboration commits nearly \$2 billion to build foundational data for AI models to predict and treat disease." 2026 年 10 月 7 日. <https://biohub.org/news/virtual-biology-initiative-expansion/>
- [16] The White House. "Trump Administration Announces More Than \$5 Billion for the Genesis Mission, a National Mission on AI for Science." 2026 年 7 月 22 日. <https://www.whitehouse.gov/releases/2026/07/45502/>
- [17] David Matthews. "The US 'golden age' science strategy: what Europeans need to know." Science|Business, 2026 年 7 月 30 日. <https://sciencebusiness.net/news/international-news/us-golden-age-science-strategy-what-europeans-need-know>
- [18] The White House. "U.S. Leads International Coalition to Endorse Kyoto Vision for a Golden Age of Science." 2026 年 10 月 4 日. <https://www.whitehouse.gov/releases/2026/10/us-leads-international-coalition-to-endorse-kyoto-vision-for-a-golden-age-of-science/>
- [19] Roll Call (Factba.se). "Remarks: Donald Trump Attends a Summit on New Science Initiatives in Washington - October 8, 2026." 2026 年 10 月 8 日. <https://rollcall.com/factbase/trump/transcript/donald-trump-remarks-science-initiatives-summit-golden-age-october-8-2026/>
- [20] Tathagata Sen. "White House Announces \$6B Science Push, Including \$2.4B Genesis Mission AI Commitments." CDO Magazine, 2026 年 10 月 9 日. <https://www.cdomagazine.tech/us-federal-news-bureau/white-house-announces-6b-science-push-including-2-4b-genesis-mission-ai-commitments>
- [21] Sarah Jones. "Meta, Google and the US Government Back a \$1.8bn AI Biology Project." H2S Media, 2026 年 10 月 8 日. <https://www.how2shout.com/news/biohub-virtual-biology-initiative-1-8-billion.html>
- [22] Georgia Tech News Center. "Georgia Tech and Emory Invest More Than \$1B in AI to Drive State's Jobs, Economic Growth." 2026 年 10 月 8 日. <https://news.gatech.edu/news/2026/10/08/georgia-tech-and-emory-invest-more-1b-ai-drive-states-jobs-economic-growth>
- [23] National Institutes of Health. "NIH Operates Under a Continuing Resolution." NOT-OD-26-131, 2026 年 9 月 28 日. <https://grants.nih.gov/grants/guide/notice-files/NOT-OD-26-131.html>
- [24] The Washington Post. "Trump to tout innovation 'Golden Age' amid funding cuts, researcher exodus." 2026 年 10 月 8 日. <https://www.washingtonpost.com/politics/2026/10/08/trump-tout-innovation-golden-age-amid-funding-cuts-researcher-exodus/> [本文は取得できず、見出しのみ確認]
- [25] Office of Rep. Zoe Lofgren. "Ranking Member Lofgren's Opening Statement at Hearing on OSTP's FY2027 Research Priorities." 2026 年 7 月 22 日. <https://lofgren.house.gov/media/press-releases/ranking-member-lofgrens-opening-statement-hearing-ostps-fy2027-research>
- [26] Grace van Deelen. "Trump's Science Adviser Wants to Overhaul 'Increasingly Calcified' U.S. Science Enterprise While Science Funding Lags." Eos (AGU), 2026 年 7 月 23 日. <https://eos.org/research-and-developments/trumps-science-adviser-wants-to-overhaul-increasingly-calcified-u-s-science-enterprise-while-science-funding-lags> [レーン氏の発言は Science 誌のインタビューからの引用。Science 誌の本文は

取得できず]

- [27] House Committee on Science, Space, and Technology (Republicans). "Opening Statement of Chairman Babin at Unleashing the Golden Age of Science: Examining the Priorities of the FY2027 Research and Technology Enterprise." 2026 年 7 月 22 日. <https://republicans-science.house.gov/2026/7/opening-statement-of-chairman-babin-at-ostp-budget-kratsios>
- [28] Amazon. "AWS Announces Golden Age of Science Accelerator, Commits Up to \$50 Million in Cloud Credits to Support White House Expansion of Genesis Mission." 2026 年 10 月 8 日. <https://press.aboutamazon.com/aws/2026/10/aws-announces-golden-age-of-science-accelerator-commits-up-to-50-million-in-cloud-credits-to-support-white-house-expansion-of-genesis-mission>
- [29] Anthropic. "Building on our commitment to American scientific discovery." 2026 年 10 月 8 日. <https://www.anthropic.com/news/genesis-mission-commitment>
- [30] Yash Thakker. "Anthropic Commits \$150M to the Genesis Mission: Claude for 15+ Federal Science Agencies." explainx.ai, 2026 年 10 月 8 日. <https://explainx.ai/blog/anthropic-150-million-genesis-mission-claude-credits-federal-science-agencies-2026>
- [31] Yash Thakker. "Genesis Mission: Who Pledged What in the \$2.4B AI Science Push." explainx.ai, 2026 年 10 月 8 日. <https://explainx.ai/blog/genesis-mission-2-4-billion-industry-pledges-nvidia-amd-openai-anthropic-2026>
- [32] 内閣府「科学技術基本計画及び科学技術・イノベーション基本計画」（掲載日記載なし）. <https://www8.cao.go.jp/cstp/kihonkeikaku/index.html>
- [33] 科学技術振興機構 サイエンスポータル「政府投資を倍増 第 7 期科学技術・イノベーション基本計画を閣議決定」2026 年 4 月 2 日. https://scienceportal.jst.go.jp/newsflash/20260402_n01/
- [34] 内閣府 科学技術・イノベーション推進事務局「第 7 期科学技術・イノベーション基本計画（案）等について」2026 年 3 月 24 日（文部科学省ウェブサイト掲載）. https://www.mext.go.jp/content/20260324-mext-kanseisk01-_000048526_4.pdf
- [35] 白田勤哉「人工知能基本計画が閣議決定『世界一 AI を開発・活用しやすい国へ』」Impress Watch, 2025 年 12 月 24 日. <https://www.watch.impress.co.jp/docs/news/2074001.html>
- [36] 閣議決定「人工知能基本計画～日本 A X、より強く、より豊かに～」2026 年 7 月 14 日（内閣府ウェブサイト掲載）. https://www8.cao.go.jp/cstp/ai/ai_plan/aiplan_20260714.pdf
- [37] 共同通信「A I 社会変革へ官民投資 政府、基本計画を改定」熊本日日新聞ウェブ版, 2026 年 7 月 15 日. <https://kumanichi.com/articles/2013811>
- [38] 国立国会図書館 カレントアウェアネス・ポータル「文部科学省、『AI for Science の推進に向けた基本的な戦略方針』を策定」2026 年 4 月 9 日. <https://current.ndl.go.jp/car/277076>
- [39] 村井宗明「文部科学省の概算要求【令和 9 年度・2027 年度】8 兆 7,750 億円の中身を DX 視点で解説」日本 DX 応援団, 2026 年 10 月 3 日. <https://digital-supporter.net/mirai-ai/gaisan/monka.html>
- [40] RIKEN. "RIKEN launches international initiative with Fujitsu and NVIDIA for 'FugakuNEXT' development." 2025 年 8 月 22 日. https://www.riken.jp/en/news_pubs/news/2025/20250822_1/index.html

- [41] 朴尚洙「富岳 NEXT の開発は『Made with Japan』、NVIDIA が加わりアプリ性能 100 倍の達成へ」
MONOist, 2025 年 8 月 25 日. <https://monoist.itmedia.co.jp/mn/articles/2508/25/news047.html>
- [42] RIKEN. "Message from President Gonokami regarding the new Japan-US strategic partnership on 'AI for Science'." 2026 年 6 月 5 日. https://www.riken.jp/en/news_pubs/news/2026/20260605_1/index.html
- [43] Lindsey Wilkinson. "US, Japan enter \$1B strategic partnership to fuel Genesis Mission efforts." FedScoop, 2026 年 6 月 4 日. <https://fedscoop.com/doe-japan-genesis-mission-partnership-national-labs/>
- [44] 大学ジャーナルオンライン編集部「10 兆円規模の大学ファンド 2025 年度は 3,158 億円の黒字達成 京都大学にも約 200 億円の助成見込み」2026 年 7 月 12 日. <https://univ-journal.jp/999334/>
- [45] 文部科学省「国際卓越研究大学の認定について（京都大学）」2026 年 7 月 31 日.
https://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/mext_01662.html
- [46] 共同通信「文科省、京都大に 1 9 8 億円助成『国際卓越研究大学』計画を認可」熊本日日新聞ウェブ版, 2026 年 8 月 7 日. <https://kumanichi.com/articles/2023089>
- [47] 内閣府「経済安全保障重要技術育成プログラム（K Program）に関する中間評価について」第 12 回プログラム会議 資料 1, 2026 年 8 月 24 日.
https://www8.cao.go.jp/cstp/anzen_anshin/program/12kai/shiryo1.pdf